



# エコ・ファーストの約束

— 環境先進企業としての地球環境保全の取組 —

環境大臣 長浜 博行 殿

平成24年10月29日

株式会社LIXIL  
代表取締役社長

藤森 義明

株式会社LIXILとその子会社は、事業活動でのエネルギー消費のミニマム化とともに、民生部門のエネルギー消費のゼロ・バランスを希求し、豊かで快適な住生活の未来に貢献するために、以下の取組を進めてまいります。

## 1 自然の恵みをいかした製品とサービスを提供しながら、お客さまと共にこれからの暮らしを考えます。

- 高性能な断熱サッシ・ドア、節電・節湯機能を高めた製品の開発・販売により、家庭・オフィスビル等の民生部門におけるCO<sub>2</sub>排出量削減に寄与します。LIXIL製品による国内のエネルギー削減貢献量の最大化に努めるとともに、CO<sub>2</sub>排出量の削減も推進し、2015年度までに2010年度比で2倍にします。

## 2 日々の事業活動において、低炭素・資源循環・自然共生につながる運営を行います。

- 低炭素化の推進のため、調達・製造から廃棄まで、あらゆる事業活動におけるエネルギー消費のミニマム化に努め、国内事業所のCO<sub>2</sub>排出量を1990年度比で2020年度に60%削減します。
- 資源循環の推進のため、廃棄製品に含まれるアルミ等の金属原料について、産学官による共同開発への参画を通じて高度選別技術の実用化と製品製造工程における技術革新を重ね、現在業界トップランナーレベルにある原材料全体に占めるリサイクル原料の比率を更に高めます。また、拡大生産者責任のひとつとして、住宅リフォーム廃材の再資源化を行う「エコセンター」事業を中部・関東に続き東北地区で2012年度に開始し、2015年度までに東北地区で年間5,000 m<sup>3</sup>の廃材を処理します。
- 自然共生の推進のため、木質材料の調達量に占める国内外の第三者機関による認証材、植林材、国産材および木質端材・廃材を原料とした加工材の合計の比率を、2015年度までに80%にします。また、サトウキビの絞りカスを原料とした「バガスボード」を先進的な品質規格に適合させて国内からアジアへ普及させることをはじめ、木質端材と再生プラスチックを混合成型した「強化木」および未利用材や早生樹などの木材改質などの先進技術を活用した事業化により、木材資源の有効利用を促進し森林減少の抑制に寄与します。

## 3 地域や社会の一員としてステークホルダーとの相互理解を深め、協働して独自の活動を行います。

- 国内外の子どもたちに、生活に関わる水の大切さを伝える「水から学ぶ」活動を推進します。国内では地域の小学校でオリジナル教材を使った出前授業を社員自らが実施、海外では現地NPOと協働し、地元の子どもたちと対話しながら教育の支援を行い、2015年までに海外新規拠点での活動を1箇所追加し、活動を拡大します。
- 製造拠点のある地域の生物多様性や森林の保全を維持するため、社員とその家族が近隣住民や地方自治体、NPOと協働して森林の環境整備や間伐、植樹などを行う「森でeこと」や「工場の杜」活動を推進します。2015年までに新規拠点での活動を1箇所追加し、活動を拡大します。

株式会社LIXILは、上記取組内容の進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告いたします。